

令和4年度 第4回 浦川小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年2月15日（水） 10時00分から12時10分まで
- 2 開催場所 浦川小学校 2階 図書室
- 3 出席委員 内山 豊、笹野 訓子、古尾 春子、柴田 明美、村本 和巳、荒岡 吉朗、
樽松 哲也、山田 恵美莉
- 4 欠席委員 井邊 志久
- 5 オブザーバー 青島 翔平（浜松山里いきいき応援隊）、守下 武志（浦川幼稚園園長）
- 6 学校支援コーディネーター 山中 知世
- 7 学 校 小杉 英司（校長）、川村 雄司（教頭）、長谷川 和由（教務主任）
井邊 俊任（CSディレクター 兼 学校支援コーディネーター）
- 8 教育委員会 堀田 洋一（教育総務課）
- 9 傍聴者 なし
- 10 会議録作成者 CSディレクター 井邊 俊任
- 11 議長の選出

司会から、議長の選出についてこれまで同様内山会長を議長に推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。

12 協議事項

- （1）学校関係者評価（学校自己評価の結果を受けて）について
- （2）来年度の学校経営基本方針の説明
- （3）学校運営協議会自己評価（1年間の取り組みの振り返り）について
- （4）来年度の活動について
- （5）その他（情報交換・連絡事項など）
 - 夢育やらまいかCS加算分の報告
 - 浦川幼稚園の現状と今後について

13 会議記録

司会のCSディレクターから、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

- （1）学校関係者評価（学校自己評価の結果を受けて）について
- （2）来年度の学校経営基本方針の説明

議長の指示により、長谷川先生から今年度の学校関係者評価についての説明、校長から来年度の学校経営本方針の説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 子供教室に来ている子供たちの様子を見てみると、昨年までは宿題等を終わらせてから遊ぶことが多かったが、今年度はすぐに遊びに行ってしまう、評価からもわかるように学習に向かう意識が薄れてきているように感じる。また、思いやりの気持ちや言葉遣いについても同じように感じている。（古尾委員）

- ・ 子供たちの意見の中に、喧嘩・仲間外れ・陰口をなくしてほしいという記述があるが、少し心配である。(樽松委員)
- これを受け、長谷川先生から現在の子供たちの言葉遣い・課題・今後の対応などについて、大まかな説明があった。
- ・ 「毎日、家庭学習に取り組んでいる」という項目の評価を見ると、児童・保護者・教職員共に評価が下がっている。自分の子供には、帰宅後宿題が終わってからゲームをするようにさせているつもりだが、子供教室で宿題を終わらせている子は、帰宅後すぐにゲームをしている子もいるようで、ゲーム機の画面上でどの子がゲームをやっているかが分かってしまう。今の時代オンラインゲームがある以上仕方がないことではあるし、タブレット等が使えるようになった方が良いので難しいところである。オンラインゲームの中でのお互いの言葉遣いが学校生活や普段の生活の中でも使われるようになってしまっている気がする。保護者たちも頭を悩ませていると思う。(山中学校支援コーディネーター)
- ・ 子供に与えられた時間の使い方を考えると、今の子供はゲームの割合が多くなっている。昔はゲームが無く、あってもオンラインではできなかった。今の時代仕方がないことではあるが、時間の活用方法など家庭・地域・学校を含めて指導していく必要があると感じる。今後の大きな課題である。(内山会長)
- ・ グランドデザインについては分かりやすく理解ができる。「小規模校の良さを生かす」という項目があるが、まさにそれを期待する。児童一人一人と教職員が向き合う時間が作りやすい環境だと思うので、一人一人の個性を把握し、伸ばしてあげてほしいと思う。また、喧嘩や子供同士の問題等について、話すのが難しいと言われたが、AくんBくんのようにして内容を説明していただきたい。(荒岡委員)
- ・ 子供教室の様子を見ていると、一人一人意見を持っているが、どうしても意見の強い子に従ったり、仲間外れにされないようにしている子が多いように感じる。一人の子が孤立してしまっている時もある。また、友達のいい所や個性を伸ばしてあげようとする意識のある子が少なく感じる。子供教室としては、放課後楽しく安全に過ごしてもらえればと思っているが、小規模校の良いところ、悪いところが出てきている気がする。(柴田委員)
- 子供教室でのそういった案件について、どのような対応をしているのか。(笹野副会長)
- ・ 基本的には、学校と連絡を取り合いどのような対応をしていくのか検討するようにしている。子供教室としても、月一回のスタッフミーティングを行い、情報共有をするとともに、学校側へも子供の様子について報告している。(柴田委員)

(3) 学校運営協議会自己評価(1年間の取り組みの振り返り)について

議長の指示により、CSディレクターから自己評価の集計結果について説明があった。

議長から、グループワークにより評価項目ごとの学校運営協議会としての意見をまとめるように指示があり、A・Bグループからは以下のような発言があった。

- ・ どの項目も学校側からの分かりやすい説明があり、また委員からも具体的な案や発言も出てきている。熟議することはできている。連携・協働については、学校側との意見交換ができるようになってきて、少しずつ連携ができていくように感じるが、地域との連携・協働については、まだまだ改善していくところもある。

- ・ どの項目も委員からはいろいろな意見が出ている。いろいろな意見が出るということは、熟議ができている証拠である。連携・協働については、CS通信などで発信しているおかげで、少しずつではあるが地域にも広がってきていると感じる。まだまだ改善するところはあるが、連携・協働という体制はできてきている。

(4) 来年度の活動について

- ・ 議長の指示により、CSディレクターから来年度の学校行事計画を基に、CSとしての活動計画の説明があった。
- ・ 議長の指示により、教頭から来年度の学校150周年の行事計画の説明があった。

(5) その他（情報交換・連絡事項など）

○夢育やらまいかCS加算分の報告

議長の指示により、教頭から今年度の夢育やらまいかCS加算分の使途について報告があった。

○浦川幼稚園の現状と今後について

議長の指示により、浦川幼稚園園長から現在の状況と今後についての説明があった。また、市立幼稚園・保育園の適正化等に関する情報が提供された。

○来年度の学校運営協議会委員について

議長の指示により、校長から来年度の学校運営協議会委員の体制について説明があった。

○その他報告事項

司会から、次回の会議は、来年度の年間計画が決まり次第連絡する旨の報告があった。